

7. 事務系職員・IT企業連絡会

1. 各大学の平成 26 年度授業実施の計画とその準備
 - 1) 岩手医科大学
 - 2) 北海道医療大学
 - 3) 昭和大学・事務局
 - 4) IT を活用した教育センター事務局

2. e-ラーニング授業の実施準備および運営について
金沢電子出版株式会社 佐藤 伸平

3. VP 授業の実施準備および運営について
株式会社ピコラボ 鈴木 泰山

平成26年度授業実施の計画とその準備（岩手医科大学）

1. 講義日程および実施場所

3 学年

平成26年9月22日（月）	1 限	オリエンテーション
平成26年10月2日（木）	1, 2 限	トライアル
平成26年10月3日（金）	1, 2 限	
平成26年10月27日（月）	1 限	
平成26年10月28日（火）	1, 2 限	
計8コマ（オリエンテーション、トライアル含む）		
場所：矢巾キャンパス講義室（平成25年度使用実績あり）		

4 学年

平成26年9月12日（金）	4 限	オリエンテーション
平成26年9月25日（木）	4 限	トライアル
平成26年10月2日（木）	1, 2 限	
平成26年10月8日（水）	3, 4 限	
平成26年10月10日（金）	4 限	
平成26年10月14日（火）	4 限	
平成26年10月17日（金）	3, 4 限	
計10コマ（オリエンテーション、トライアル含む）		
場所：内丸キャンパス講義室（無線LAN環境あり）		
※オリエンテーション	連携事業の説明、ネットワーク接続・VP使用テスト	
※トライアル	ネットワーク接続・VP使用テスト、模擬授業	

2. 役割分担

教員	コンテンツの準備、スライド・配布資料等の作成
事務	学生・教員の登録、各種マニュアルの作成、授業実施環境の調整、その他各調整
学生	PCの準備

3. 講義開始までの準備

・年度初めの学年ごとのオリエンテーションにおいて、3年生および4年生にPCを準備するように通知する。VPを使用する4年生に対しては、学生情報登録後、VPシステムのURLとID&パスワードを通知し、講義開始までに各自UNITYプレイヤーをインストールした上でVPシステムの動作を確認しておくよう通知する。

・内丸キャンパス講義室のネット環境については、60名近い学生が一度にアクセスできるかは不明。事前に確認できないため、オリエンテーションで接続確認を行い、不具合があった場合はトライアルまでに対応する（アクセスポイントの増設等）。なお、予備のPCについては10台程度用意する予定。

・4年生の最初の講義（VPを最初に利用する講義）には、ピコラボ鈴木さんに立会いをお願いする。

平成26年度授業実施の計画とその準備（北海道医療大学）

1. オリエンテーション、トライアルについて

特別にコマを設けて実施しないが、第3・5学年ともに第1回目の授業にゆとりを持たせて、その中で説明等を実施

2. 授業日程について

【第3学年】

- ・第1回：平成26年4月10日（木）1コマ
- ・第2回：平成26年7月10日（木）1コマ
- ・第3回：平成26年7月17日（木）1コマ
- ・第4回：平成26年7月24日（木）1コマ
- ・第5回：平成26年8月21日（木）1コマ

【第5学年】

- ・平成26年5～7月に6コマ実施予定

3. 授業場所について

第3・5学年ともにパソコンが常設されているCALL教室、もしくはCBT受験用に使用している教室を使用予定

4. 授業担当教員について

越野 寿 教授、豊下祥史 講師

5. 教室のIT環境について

CALL教室を使用する場合は、常設のパソコンを使用し、CBT受験用に使用している教室を使用する場合は、大学所有のCBT受験用のパソコンを貸与

6. 事前学習について

事前学習についてアナウンスを行い、各自サイトへアクセスさせる他、紙媒体により事前に資料の配付も検討中

7. 業務分担について

教員：コンテンツの準備、スライド・配付資料等の作成

事務（教務課）：学生・教員の登録情報の提供、使用教室の調整、配付資料の印刷、
予備パソコンの準備、アンケートの準備・回収・送付

事務（情報推進課）：コンテンツの準備、学生・教員の登録

学生：パソコンの設置・撤去（CBT受験用に使用している講義室を使用する場合）、
アンケートの回答

8. 昨年度からの改善点について

学生がネットワークに接続する際、ネットワークに繋がらないなどパソコンに不具合が発生したり、パソコンの性能の関係でネットワークに繋がるまでに時間が掛かっていたが、大学所有のCBTパソコンを更新したことから、改善が見込まれる。

平成26年度授業実施の計画とその準備（昭和大学）

1. オリエンテーション、トライアルについて

授業開始日以前にコマを設けて、ネットワーク接続の確認と説明を行なう。

2. 授業日程について

【第3学年】チーム医療と口腔医学Ⅰ（チーム医療Ⅰ）

- 第1、2回：平成26年9月16日（火）1～2限
- 第3、4回：平成26年9月30日（火）1～2限
- 第5、6回：平成26年9月30日（火）3～4限
- 第7、8回：平成26年10月7日（火）1～2限
- 第9、10回：平成26年10月14日（火）1～2限

【第4学年】チーム医療と口腔医学Ⅱ（チーム医療Ⅱ）

- 第1、2回：平成26年9月30日（火）3～4限
- 第3、4回：平成26年10月7日（火）3～4限
- 第5、6回：平成26年10月14日（火）3～4限
- 第7、8回：平成26年10月21日（火）3～4限
- 第9、10回：平成26年10月28日（火）3～4限
- 第11、12回：平成26年11月5日（火）3～4限
- 第13、14回：平成26年11月19日（火）3～4限

3. 授業場所について

各学年のホーム教室を利用する。

4. 授業担当教員について

第3学年：別添資料1を参照

第4学年：別添資料2を参照

5. 教室のIT環境について

4年生はVPを同時に接続するため、ピコラボに調整対応を依頼する。

6. 事前学習について

学生への連絡は基本的に授業担当者が行なう。

7. 運用について

別添資料3を参照

8. 昨年度からの改善点について

- ネットワーク環境の更なる整備を行なう。
- 事前学習課題の更なる徹底を行なう。
- 授業担当者に加え、教務からのPC整備と携行を徹底する。

D3 チーム医療と口腔医学 I (チーム医療 I)

第 1、2 回

26.9.16 (火) 1～2 限 全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？

佐藤 裕二

北川 昇

弘中 祥司

飯島 毅彦

片岡 竜太

第 3、4 回

26.9.30 (火) 1～2 限 脳梗塞を発症した患者から、医療の仕組みを学ぶ

弘中 祥司

第 5、6 回

26.9.30 (火) 3～4 限 口腔乾燥症と疾患①

美島 健二

第 7、8 回

26.10.7 (火) 1～2 限 口腔乾燥症と疾患②

弘中 祥司

美島 健二

第 9、10 回

26.10.14 (火) 1～2 限 口腔診察・検査実習と疾患

美島 健二

井上 富雄

桑田 啓貴

弘中 祥司

中村 史朗

望月 文子

田中 準一

森崎 弘史

コース：社会と歯科医療・チーム医療

背景：我が国では超高齢社会の到来により、様々な基礎疾患を有し、薬を服用している患者が、歯科を受診する率が高まっている。また一般医科病棟でも、当該の病気に加えて、口腔機能管理の重要性が増している。さらに、介護が必要な高齢者の増加と共に呼吸器感染症の予防や摂食嚥下機能の維持・回復のための口腔ケア等の重要性が高まっている。

一般目標 (GIO)：

国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン（口腔科医）になるために、医療の仕組みを理解し、特に高齢者にみられることが多い口腔症状と各種全身疾患との関連を理解した上で、口腔のケアプランを立案する能力を獲得する。

D4 チーム医療と口腔医学 II (チーム医療 II)

対象学年：4年生 後期 責任者名：片岡 竜太

授業形式等；e-ラーニング、VP、講義、SGD

一般目標 (GIO)：

超高齢社会に対応できるオーラルフィジシャン（口腔科医）になるために、高齢者に多くみられる全身疾患と服用している薬剤、口腔症状および多職種連携のチーム医療を理解し、口腔症状への対応を身につける。

到達目標 (SBOs)：

1. 高齢者に多く見られる基礎疾患について説明できる。
2. 基礎疾患を有する患者の歯科診療における注意点を説明できる。
3. 診療ガイドラインの概念を理解する。
4. 医薬品に関する情報収集ができる。
5. 小児、高齢者、妊婦の体内薬物動態の特徴とこれらの患者への処方時の注意点について説明できる。
6. 薬物によって生じる代表的な副作用とその症状、治療、予防策を説明できる。
7. 処方箋の種類、適切な記載方法、法的規定について説明できる。
8. 口腔内科的疾患について概説できる。
9. 口腔乾燥を訴える患者の鑑別診断を説明できる。
10. 口腔乾燥を訴える患者に対して医療面接で聞く内容を説明できる。
11. 口腔乾燥症の症状と治療法を説明できる。
12. 脳卒中の症状と全身および口腔の機能に対する影響を説明できる。
13. 急性期と回復期のチーム医療体制を説明できる。
14. 医療・歯科医療の連携と病院におけるチーム医療を説明できる。
15. 口腔内環境・機能検査として、唾液分泌能測定、口腔乾燥度測定、細菌数測定、嚥下機能測定、および咬合力測定を実施し、診断につなげることができる。
16. 全身疾患を有する患者に対する口腔のケアの実施について説明できる。

評価：定期試験(60%) ポートフォリオ・eラーニング・VP(40%)

◆全学年を通しての関連ユニット

1年 初年次体験実習 歯科医院見学実習 歯学入門

2年 福祉と健康（福祉施設実習）

3年 ヒトの病気 A チーム医療と口腔医学 I 口腔医学 II（病院病棟における看護業務と全身状態の把握、医療面接の基礎） 口腔医学実習 II（昭和大学附属病院病棟体験実習）

4 学部連携チーム医療 学部連携 PBL

4年 口腔医学 III 全身の医療面接とコミュニケーション ヒトの病気 B

5年 全身疾患と口腔医学 全身管理と医療連携の臨床実習 学部連携病棟実習

6年 学部連携地域医療実習 学部連携アドバンスト病院実習

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学 習 内 容	対象 SBO	担当
1	26.9.30	火	3	歯科診療と全身疾患 チーム医療と口腔内科	本ユニットの目的を理解する。基礎疾患と歯科診療との関連についてeラーニングなどで学ぶ。チーム医療を行うにあたり、口腔内科的な知識がどのように必要であるかを理解する	1,2,	歯学教育 片岡竜太
2	26.9.30	火	4	薬物に関する情報収集と 処方箋の書き方	お薬手帳や医薬品添付文書から必要な情報を収集する。処方箋の書き方を学ぶ	3,4,6	医薬情報解析学 加藤裕久
3-4	26.10.7	火	3- 4	口腔乾燥を訴える患者に 対する医療面接	口腔乾燥を訴える患者の鑑別診断について eラーニングで学ぶ。口腔乾燥を訴える患者に対して医療面接で聞く内容について、VP や eラーニングで学ぶ。	4, 5, 10	口腔病理 美島健二
5	26.10.14	火	3	口腔乾燥症の症状と診断	口腔乾燥症の症状や診断について学ぶ。	6	口腔病理 美島健二
6	26.10.14	火	4	口腔乾燥症に対するケア	口腔乾燥が見られる患者に対する口腔のケアについて学ぶ。	10,11	口腔衛生 弘中祥司
7	26.10.21	火	3	薬物の副作用とその予防 策	薬物によって生じる代表的な副作用とその症状、治療、予防策を説明できる		臨床薬学 山元俊憲
8	26.10.21	火	4	EBMと診療ガイドラインの 活用	代表的な疾患(循環器、脳血管障害)の診療ガイドラインと標準的な薬物治療を学ぶと同時に歯科診療との関連を考える。		医薬情報解析学 加藤裕久
9	26.10.28	火	3	特別の配慮が必要な患者 に対する薬物治療	高齢者、妊婦、小児と歯科診療で遭遇する頻度が高い疾患の患者（高血圧、不整脈、虚血性心疾患）、脳卒中、糖尿病、喘息、骨粗鬆症など）に対する薬物治療について学ぶ。		薬学教育学 木内祐二

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学 習 内 容	対象 SBO	担当
10	26. 10. 28	火	4	高齢者に対する服薬指導 の実際を学ぶ	医薬品と剤形の種類を学び嚥下障害や口腔乾燥を 有する患者に対する服薬の実際を学ぶ。		地域医療薬学 倉田なおみ
11	26. 11. 5	水	3	チーム医療における歯科 医師の役割(急性期)	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して入院中 に行うチーム医療の実際について、VP や e-ラーニ ングで学ぶ。	7,8,9, 10	口腔衛生 弘中祥司
12	26. 11. 5	水	4	チーム医療における歯科 医師の役割(回復期)	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して退院 後に行う地域連携医療の実際について、VP や e- ラーニングで学ぶ。	7,8,9, 10	口腔衛生 弘中祥司
13- 14	26. 11. 12	水	3- 4	基礎疾患を有する患者・が ん化学療法、放射線治療 中の患者に対する口腔ケ アを学ぶ	学部連携病棟実習、地域連携歯科医療実習に備 えて、基礎疾患を有する患者・がん化学療法、放射 線治療中の患者の口腔内の症状とそれぞれに対 応した口腔ケアの実際を学ぶ。 (旗の台5号館5階実習室を使用)	1,2,3, 4,5,6, 7,8,9, 10,11	口腔衛生 弘中祥司
15- 16	26. 11. 19	水	3- 4	投与されている薬剤から患 者の全身状態、口腔への 影響を予測する。	演習形式でお薬手帳を見て、患者の全身状態と口 腔への影響を予測する方法を学ぶ。	3,4,5 、6,7	地域医療薬学 倉田なおみ 薬学教育学 木内祐二

資料3

現在の運用

歯学教育推進室

- ・Eラーニング、電子ポートフォリオ
準備・運用・データ管理
- ・電子シラバス作成
- ・アンケート依頼
- ・Eラーニング用学籍データ更新
- ・電子ポートフォリオ申請窓口
- ・電子ポートフォリオ項目入力

学事部(歯学部学務課)

- ・電子シラバス管理
- ・学籍管理、成績管理
- ・授業アンケート用紙作成・集計

総合情報管理センター

- ・Showa-ID、パスワード発行
- ・ネットワーク環境整備

資料3

今後の運用

歯学教育推進室

- ・Eラーニング、電子ポートフォリオ
準備・運用・データ管理
- ・電子シラバス作成
- ・アンケート依頼

学事部(歯学部学務課)

- ・学籍管理、成績管理
- ・授業アンケート用紙作成・集計
- ・Eラーニング用学籍データ更新
- ・電子ポートフォリオ申請窓口
- ・電子ポートフォリオ項目入力

総合情報管理センター

- ・Showa-ID、パスワード発行
- ・ネットワーク環境整備

平成26年度授業実施の計画とその準備（ITを活用した教育センター）

ITを活用した教育センターの業務・運営について

1. 授業開始前の準備について

- 1) 3連携校で作成したIT教材は「教材プール
(<https://e15.showa-u.ac.jp/pool13/>)」に入れる。
- 2) Moodleへの学生登録、教員登録は各大学で責任を持って行う。登録方法などが不明な場合はITを活用した教育センターに連絡をする。ITを活用した教育センターはIT業者に説明を依頼する。
- 3) 各大学は対象学年、授業スケジュールに応じて、「教材プール」から教材を選び、授業用IT教材を作成する。（責任者：各大学授業責任者）
 - (1) 各WGで作成されたeラーニング画面構成案（パワーポイント形式）を金沢電子出版株式会社に依頼し、Moodleに流し込む
 - (2) 画面構成案をeラーニング化を行なう際、解説画面は特に問題ないと思われるが、問題に関しては配点や正誤判定基準が分かるよう画面構成案または別添資料に明記する。

2. 授業開始後の作業について

- 1) それぞれの大学における授業は、各大学が責任を持って運営する。（責任者：各大学教務部、授業責任者）
- 2) 授業中、学習進度の調整や問題に対する学生の回答率等の授業の進行に関するMoodleの操作が不明な場合は、ITを活用した教育センターに授業支援を依頼する。

3. 授業終了後の作業について

- 1) 授業終了後、アンケート結果、正答率の情報は各大学教務がITを活用した教育センターに送付し、ITを活用した教育センターにて集計する。（学生名は削除し、出席番号のみとする）

4. その他

- 1) 上記の作業が円滑に行えない場合は、ITを活用した教育センターに連絡する。ITを活用した教育センターは必要に応じて、IT業者に支援をお願いする。

	いつ	誰が	どこで	どのように	なぜ
1 科目開講前の作業					
(ア) 使用教室や機材の確認					
① 教室のネットワーク状況の確認					
a. 回線の速度が十分か?					
b. 利用者全員が同時接続可能か?					
c. (有線の場合)LANケーブルはあるか?					
d. (無線LAN)ネットワークIDは周知されているか?					
② 教室の電源の確認					
a. 利用者数に十分な口数か?					
③ 使用するパソコンの確認					
a. インターネットに接続できるか?					
b. セキュリティソフトが入っているか?					
c. OSやブラウザは最新アップデートされているか?					
d. 動作確認されたOSやブラウザか?バージョンか?					
(イ) コースの準備					
① 使用するコースの作成, 設定					
a.					
② 使用するコンテンツの登録, 作成, 設定					
a. マスターコンテンツの選択					
b. コンテンツのカスタマイズ					
c. コンテンツのコースへの登録					
d. コンテンツの設定					
③ ユーザーの登録					
a. システムにユーザーを登録する					
b. 使用するコースにユーザーを登録する(ロールを割り当てる)					
(ウ) 学生向けマニュアルの配布					
① eラーニングシステムの基本操作					
② 授業で使用するコンテンツ形式の利用法					
(エ) 模擬授業の実施					
① 模擬授業用コースの準備					
② ユーザー登録					
③ 実施および指導					
2 各回の授業前の作業					
(ア) 事前学習の設置(開講前の作業?)					
① 学習課題の作成, 出題					
a. 学習課題用コンテンツを登録する					
b. 学習課題用コンテンツを設定する					
c. 学習課題を周知する					
② 学習課題の提出状況の確認					
a. 提出状況を確認する					
b. 提出課題のフィードバックをする					
c. 未提出者への声かけをする					
③ 事前学習に対する復習課題の設定, 出題					
(イ) コンテンツの確認, 調整					
① 前回の授業を踏まえての調整					
a. 授業進度に応じてコンテンツを加減する					
b. 学生の理解度に合わせてコンテンツを調整する					
② 事前学習状況を踏まえての調整					
a. 学習課題解説用のコンテンツを準備する					
3 各回の授業中の作業					
(ア) 機器等動作確認					
① パソコンの起動の確認					
a. 電源, ケーブル, 設置等, 安全を確認					
b. 正常に起動しているか?					
c. 余分なソフトが立ち上がっていないか?					
d. インターネットに接続できているか?					
② eラーニングシステムへの接続確認					
a. 正しくサイトURLにアクセスできているか?					
b. ユーザー名, パスワードを用いてログインできているか?					
c. 今回の授業で利用するコースおよびコンテンツにアクセスできているか?					
(イ) 授業コンテンツの利用					
① 学習進度の調整					
a. ビデオや解説等のリソースコンテンツはプロジェクトを利用する					
b. 小テストやアンケート等は学生が勝手に進めないように順次公開する					
② 学習状況の確認					
a. パソコンを授業に無関係なことに使用していないか?					
b. リソースコンテンツが閲覧されているか?					
c. 小テストやアンケート等は実施されているか?					
d. 小テストの解答内容や評点は?					
③ 授業内容の調整					
a. 学習状況に応じて使用するコンテンツを選別する					
b. 学習状況に応じて解説やヒントを加える					
4 各回の授業後の作業					
(ア) 授業アンケートの集計, 分析					
(イ) 授業達成度, 学習効果の分析					
(ウ) 事後課題, 復習状況の確認					
5 科目閉講後の作業					
(ア) 学習履歴, 成績の分析, 報告					
(イ) 実施コースの達成度, 効果の分析, 報告					


授業でのVPシステムの利用に向けた準備について

2014-03-27
株式会社ピコラボ

授業に向けた準備

1. 症例の完成度を高める
2. オリエンテーションなどの実施
3. 履修時の配布資料の作成
4. 授業前の学生の練習期間の確保
5. 当日の実施体制の準備
6. 成績の評価

1. 症例の完成度を高める

- 各WGの試作症例が利用可能です
 - まずは利用してみる
 - 対話がうまくいかない箇所や応答がわかりにくい箇所などを洗い出す
 - 検査結果やVPの応答から必要な情報が読み取れるかどうか
 - 想定した診断や治療法以外の答えが考えられないかどうか
-  症例テンプレートに反映

1. 症例の完成度を高める

- 完成度向上に向けた作業
 - 対話例（想定問答）の充実化
 - 深掘りした質問や関連する質問の追加
 - 同じ質問の別の聞き方の追加
 - 口腔内の検査・診察の項目とその結果の検討
 - 追加検査・診断・治療の選択肢と正答、フィードバックの整備
 - 他の診断や治療法の可能性がないかどうかの検討
 - 学生へのフィードバック文章のブラッシュアップ
 - 写真・画像などの鮮明化

2. オリエンテーションの実施

- 事前に学生さんに操作方法や準備などを説明しておく必要があります
 - ブラウザやOSなどのバージョンの確認
 - Unity Player（ブラウザ用のプラグイン）のインストール
 - ポップアップブロックの設定の確認
 - アカウントの登録とアクセス方法の確認
 - 操作方法や画面の流れの説明

3. 履修時の配布資料

- 昭和大学ではVP履修時に問診票を配布
- 症例のポイントの整理や、聞くべき質問の誘導などに非常に有効

3. 履修時の配布資料 / サンプル

3. 履修時の配布資料 / サンプル

4. 授業前の練習期間の確保

- 練習用症例を学生に公開し、授業前に自宅で予習させることをお勧めします
 - VPシステムはどこからでもいつでも利用可能です
 - システムに利用履歴が残りますので、予習していない学生を調べることも出来ます

5. 当日の実施体制の準備

- 準備をしても当日にトラブルは起こります
 - ネットワーク接続ができない
 - プラグインをインストールしていない
 - ID/パスワードを忘れた
 - パソコンの調子が悪い
 - ブラウザを終了してしまった
- バックアップ体制を確立しておきましょう
 - 予備の貸し出し用PCの準備
 - 予備アカウントの準備
 - ネットワーク管理者の立ち会いの依頼

6. 成績の評価

- VPの履修結果を評価に利用することも可能です
 - 質問のカバー率
 - 追加検査・診断・治療の選択の正解率とカバー率
- 評価に利用する場合は事前に配点情報などを決めておく必要があります

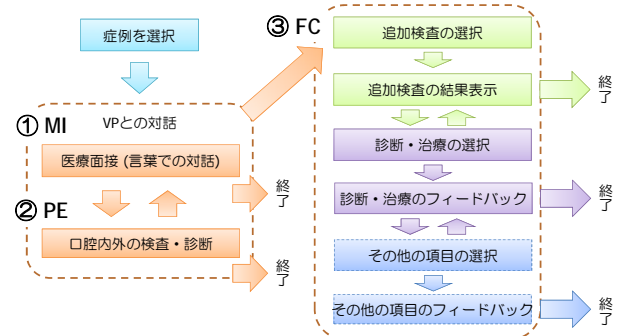
連携事業用 VP症例の利用

- <https://vpwa.showa-u.ac.jp/> にアクセス
- アカウントは下記の通り
 - 昭和大の方
wa_sample001 ~ wa_sample005
 - 岩手医科大学の方
iw_sample001 ~ iw_sample005
 - 北海道医療大学の方
hm_sample001 ~ hm_sample005
- パスワードはアカウント名と同じ
- ログインすると各WGの症例が一覧表示

連携事業のVP症例一覧

観測	患者名(仮)	年齢	キャラクタ	主訴	全身疾患等
連携事業【WG1】 【シェーグレン症候群】	連携 WG1	60	年配女性	口が渾くのです。	甲状腺疾患
連携事業【WG2】 【糖尿病】	連携 WG2 (糖 尿病)	未定	年配男性	左下奥の歯がぐらぐらして痛いです。	糖尿病
連携事業【WG2】 【不整脈】	連携 WG2 (不 整脈)	67	年配男性	左下の奥歯が噛むと痛いので治療して欲しいです。	不整脈(心臓拍動)
連携事業【WG3】 【認知症科】	連携 WG3	未定	未定	入れ歯の調子が悪いのです。	脳梗塞
連携事業【WG4】	連携 WG4	70	年配男性	入れ歯が合わないんです。	脳梗塞、高血圧

参考: VPシステムの履修画面の流れ



参考: VPシステムの履修画面の流れ

- ① MI (Medical Interview: 医療面接)
 - 言葉による患者との対話を行う部分
- ② PE (Physical Exam: 口腔内外の検査・診断)
 - チェアサイドで行う検査・診断を行う部分
- ③ FC (Final Choices: 選択肢問題)
 - 選択肢から解答を選択する形式の問題
 - 追加検索の選択
 - 診断と治療の選択
 - その他の選択